



# こもれび

Nagasaki Prefecture Shimabara Hospital

2020 春号

地域に信頼され、親しまれる病院を目指して、みなさまと当院をつなぎ、森に差し込む“こもれび”のような、ひとすじの光をお届けしたいと思います。

眉山

撮影 地域医療支援センター 松尾

## Contents

- 院長就任のご挨拶 .....2~4  
長崎県島原病院 院長 木下明敏
- 新任医師紹介 .....5
- 数字で見るがん情報 .....6
- 連携医療機関のご紹介 .....7  
医療法人あおば会 びね眼科  
医療法人ウイングストレスクリニック ウイング
- 外来診療一覧 .....8

## 病院理念

患者さん本人の立場に立った医療

## 病院指針

1. 早期診断、早期治療、早期リハビリテーションを医療の基本指針とします。
2. 診療にあたっては、インフォームド・コンセントを基本にして、患者中心の医療を展開します。
3. 早期退院と医療の継続を目的に病診連携、保健福祉の連携など、地域につながるチーム医療を展開します。
4. 地域医療を支援する施設として、常に医療水準の向上に努めます。
5. 経営基盤の確立に努め、協働、相互扶助、相互啓発を職場の規範として活力ある病院づくりを進めます。



## 院長就任のご挨拶

令和2年4月1日より長崎県病院企業団 長崎県島原病院長に就任いたしました木下明敏です。就任早々、新型コロナウイルス感染症の陣頭指揮に奮闘している毎日です。皆様にもこの感染症に対して、多くの不安を抱えておられることでしょう。この原稿を書いている

4月12日の時点では陽性患者はまだ島原半島から発生はしていませんが、感染陽性者が発生するのは時間の問題かと懸念しています。島原半島で感染が蔓延せぬよう、病院上げて、皆で心ひとつに一致団結して戦っている最中です。

さて私は、平成23年4月に、それまで15年間勤務していた国立病院機構長崎医療センターの内科部長から当院の副院長として赴任しました。それから9年間副院長を務め、同時に医療安全管理室長として当院の医療安全体制の確保と充実に取り組んできました。

当院は、平成21年に県立病院と離島医療圏組合病院を長崎県と市町が一体となって経営するために設立された特別地方公共団体長崎県病院企業団の病院です。長崎県県南医療圏という、ほぼ島原半島に相当する2次医療圏の基幹病院としての役割を担っています。

この島原半島は、人口減、高齢化が全国に先駆けて急速に進行してきており、医療を取り巻く状況は他の地域に比べても更に厳しい状況です。一つの医療施設の頑張りだけではどうにもならず、このままでは地域医療の崩壊を招きかねません。公的病院の整理統合などマスキミを賑わせていますが、地域医療構想については当院も含めて地域の医療機関が一丸となって本気で取り組まねばならない喫緊の課題となっています。

当院の理念として「患者さんの立場に立った医療」を掲げ、島原半島の基幹病院として、地域医療の向上、高度・先進医療の提供、地域に根ざした医学研究を進めていくことを目指し



病院長 木下明敏

ています。

当院は、感染症指定医療機関として新型コロナウイルス感染症に対してこの島原半島を守る砦となっています。それ以外にも、がん医療など専門性の高い先進・高度医療や急性期医療等の総合的診療から救急医療まで幅広い診療を行っており、島原半島の安全・安心のための砦となる使命を担っています。

長崎県内5か所の地域がん診療連携拠点病院の1つとして、島原半島におけるがん診療の拠点ともなっています。今年度には、がんセンターの工事が始まり、島原半島におけるより高いレベルでのがん診療ができるよう、拠点病院の使命を果たすことが求められています。

その他にも島原半島の基幹・中核病院として、数多くの機能をもち、その診療レベルの維持・向上は今後もずっと続いていく課題です。

安心・安全な医療の提供は極めて重要なことです。医療安全、院内感染対策はもちろんのことですが、2次救急医療機関として、島原半島内での救急車出動・搬送件数年間約5000件のうち、約2000件の救急車搬送を受けており、救急の要として、断らない医療を目指しています。昨今は熊本地震など自然災害が多発しています。医療の面から当院が中心となって島原半島を支えるために、災害派遣医療チーム(DMAT)を有する地域災害拠点病院でもあります。併せて、他の医療機関との連携も重要です。当院は、県内で11ある地域医療支援病院のうち2番目に指定を受け、地域の医療機関を支援する役割を担っており、院外の医療従事者の生涯教育等の研修にも力を入れています。

島原半島の中核・基幹病院であるとはいっても、それに胡坐をかくことなく、日々進歩している医療技術を含めた診療の質の向上を目指していくことが重要です。当院は種々の学会の指導施設や研修施設になっております。ただ、今日の医療は多職種によるチーム医療が中心です。医学は進歩しています。医師のみならず多くの職種のスタッフの底上げも重要です。教育・研修の充実に今後はより力を入れていかねばならないと考えています。さらに、診療のみならず人材育成機関として、地域医療を理解する医療者の育成などを通して地域医療を守ることも使命の一つと考えています。

更に、ホームページなどを通じて島原病院が何をやっているのかを地域住民の方々へ情報発信することは極めて大切なことです。いろいろな意見・提案をいただいて改良しながら、

よりよい情報発信のツールとして生かしていきたいと思っています。情報発信も一方通行になってしまうおそれもあり、双方向のコミュニケーションが重要であることは論を俟ちません。そのためには、お互いに、スタッフ間、部門間、また患者・家族とのコミュニケーションを更に深めていく努力も必要です。

今は正解がない時代です。いろいろな意見を出せる組織が本当に強い組織だと思います。いろいろな意見が出やすいような仕組み作り、相互理解を深めるためのコミュニケーションが取りやすい環境作りが管理者の仕事でも重要なものの一つだと思っています。

最後に、経営の話です。当院は公的な病院として、救急などの不採算部門もやっつけていかなければなりません。ただ、医療の質の向上のために、いろいろな機器を購入・整備したりするのにも資金は必要です。理想の医療の姿を描いていくため経営基盤の安定化にも尽力していきたいと思っています。

今は医療業界に限らず、変革が求められています。「生き残るものは、変化に最もよく適応したものである。」などと、ダーウィンの言葉がよく引用されていますが、まさにその通りだと思います。島原半島地域の基幹病院として「島原半島に島原病院があつて良かった」と言ってもらえる病院となるよう職員一同、更に一層努力して参る所存です。

皆様のご指導ご支援のほどお願い申し上げます。

2020年4月



# 数字で見るがん情報

院内がん登録室 文責：岩永 聖奈

<がん登録とは>

がん登録は、病院で「診断・治療」されたすべての患者さんのがんに関する情報を、診療科を問わず、データベースに記録・保管・分析・管理する制度です。病院のがん診療の実態把握や患者さん等への情報提供に活用しています。

地域がん診療連携拠点病院は全国で325病院、県内には当院を含め5病院あり(2019.7.1現在)、院内がん登録を行っています。当院は2007年4月症例より開始しています。

院内がん登録

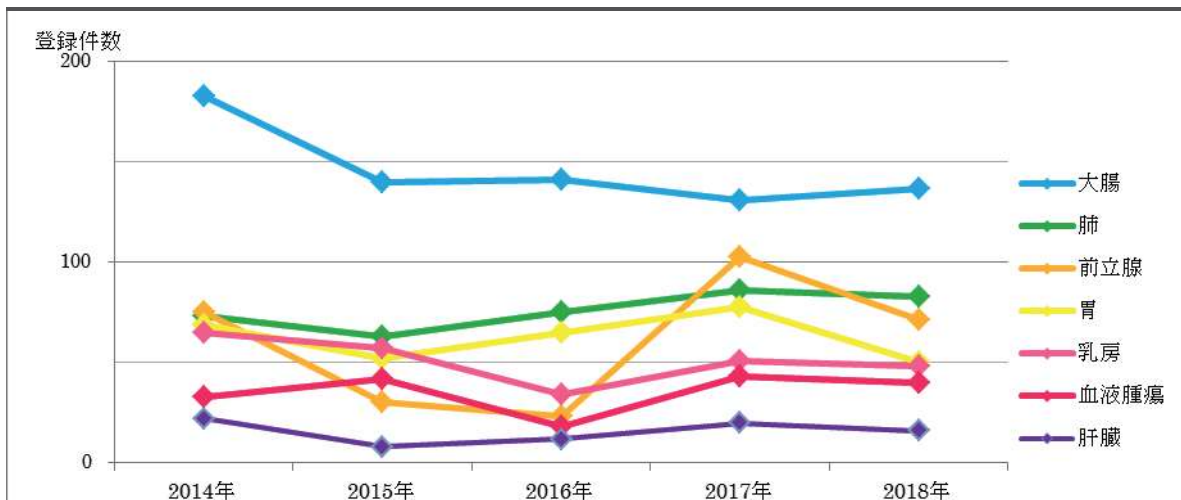


## ◆院内がん登録数の年次推移

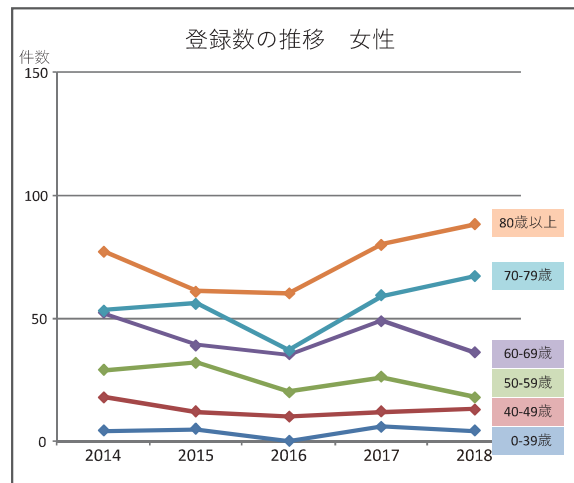
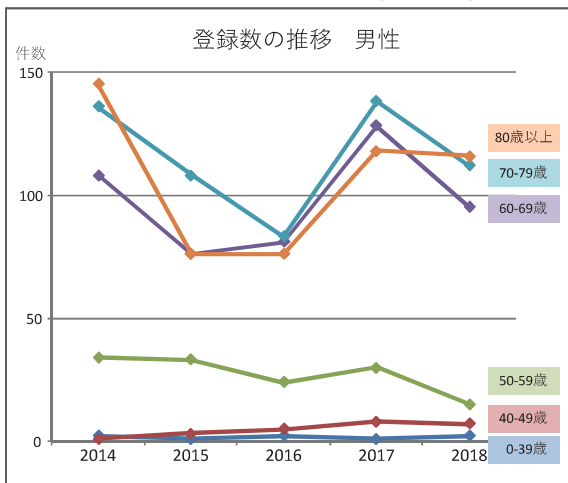


当院の2018年症例の結果では、大腸・肺・前立腺・胃・乳房が上位5部位を占めています。2017年症例と比較すると、男女別では、女性の70歳以上に増加が見られます。これは長崎県全体でも同じような傾向にあります。

## ◆部位別登録件数の年次推移



## ◆年齢6階級別登録数の年次推移(男女別)





# 連携医療機関のご紹介

これからの医療は役割分担と連携が大切！  
いつもご協力いただいている地域の医療機関をご紹介します。

## 医療法人あおば会 こみね眼科

院長 小嶺 大志 先生

島原市中安徳町丁4310番地 ☎0957-65-0001

### 開業の原点

198年ぶりに普賢岳が噴火してまもなく30年  
が経ちます。

当時、高校生だった僕にとって、噴火災害は特に  
通学に影響がありました。

列車（今は廃線となった南目線）通学でしたが、  
土石流、火砕流発生のたびに水無川付近の線路や  
道路が寸断され、バス、船での通学に急遽変更され  
ることがしばしばありました。大人の方たちはさ  
ぞ大変だったことだろうと思います。

少しでも恩返しできたらと、水無川のそばに  
2012年5月に開業して8年が経とうとしています。

みなさまの役に立っているかまだわかりませんが、恩師や同級生、その家族を診察させていただく時に開業して  
よかったと感じています。

これからも微力ではありますが、初心を忘れず地域に貢献できるように努力していきたいと思います。今後とも  
よろしくお願い申し上げます。



## 医療法人ウイング ストレスクリニックウイング

施設管理者 松下 太兵衛 先生

島原市片町643-2 ☎0957-62-0030

当診療所は、2002年9月に島原半島で初めてとなる精神科外  
来クリニックとして開設いたしました。島原地域医療圏の中心  
地である島原市近郊の外来診療に依拠しており、従前の精神科診療  
の敷居の高さを無くし、できるだけ病状が悪化する前に受診して  
いただけるよう島原駅から歩いて通える環境で医療にあたって  
おります。

精神科疾患では悪化すると長期に渡って入院が続き、退院後  
も再発・再入院をしてしまうケースが少なからずあり、退院後の  
サポートも重要とされています。また高齢化社会が進み認知症  
に伴う精神症状への対応も増加傾向にあります。当診療所では  
グループ内の医療資源を最大限活用し、心の悩みの相談窓口から  
入院治療、そして社会復帰後のアフターフォローまで一貫して対  
応しております。

昔から「病は気から」と申しますが、心の病から身体への大き  
な疾患、また逆に身体疾患から精神疾患が発症するケースも見ら  
れます。島原地域医療をすすめるにあたっては他病院との連携  
は無くしてはならないものであり、今後も島原病院を中心に地域連  
携を深め、地域の皆様が安心して暮らしていける医療圏を構築し  
ていく所存でありますので、これからもご支援のほどよろしくお  
願いいたします。



# 長崎県島原病院 外来診療一覧表

令和2年4月1日

診療科	月	火	水	木	金	
脳神経外科	林 之茂	林 之茂 佐藤 慧	佐藤 慧 (新患のみ) 中村 光流	林 之茂	佐藤 慧 中村 光流 (新患のみ)	
脳神経外科急患対応	佐藤 慧	中村 光流	林 之茂	佐藤 慧	中村 光流	
整形外科	伊藤 茂 山口 圭太	出田 聡志 朝永 育	伊藤 茂 本川 哲比古	出田 聡志 朝永 育	本川 哲比古 山口 圭太	
整形外科急患対応	山口 圭太	出田 聡志	本川 哲比古	朝永 育	本川 哲比古 (第1・3・5週) 山口 圭太 (第2・4週)	
外科	消化器 一般 乳腺	蒲原 行雄 哲翁 華子	蒲原 行雄 円城寺 貴浩	木下 綾華 哲翁 華子	円城寺 貴浩 黒島 直樹 ★松尾 繁年※	木下 綾華 黒島 直樹
	小児外科専門外来				小坂 太郎※ (第1・3週 14時~)	
外科急患対応	哲翁 華子	円城寺 貴浩	哲翁 華子	黒島 直樹	木下 綾華	
心臓血管外科			長崎医療センター※ (第4週)			
内科	新患	田中 康大	宮副 誠司	山西 幹夫	芦澤 博貴	山方 勇樹
	総合内科		宮副 誠司			宮副 誠司
	血液内科	堀尾 謙介			堀尾 謙介	
	消化器内科			山西 幹夫	山西 幹夫	
	呼吸器内科	木下 明敏 田中 康大	中島 章太 芦澤 博貴	木下 明敏	木下 明敏 芦澤 博貴	中島 章太 田中 康大
	循環器内科	山方 勇樹	松島 吉宏※	★松島 吉宏※	山方 勇樹	山方 勇樹
	神経内科		貴田 秀樹※ (第4週 13時30分~16時)	貴田 秀樹※ (第2週 13時30分~16時)		
	肝臓内科			柴田英貴※		
内科急患 対応	8:45~13:00	中島 章太	山西 幹夫	山方 勇樹	中島 章太	芦澤 博貴
	13:00~17:30	芦澤 博貴	田中 康大	堀尾 謙介	宮副 誠司	堀尾 謙介
泌尿器科	平島 定	平島 定	奥村 幸司 ★大学医※ (10時~12時)	平島 定	奥村 幸司 ★大学医※ (10時~12時)	
小児科	桐野 泰造	内田 信宏	桐野 泰造	内田 信宏	内田 信宏	
小児神経専門外来 (再診患者のみ)		★林田 拓也※ (第1週 10時30分~)				
麻酔科		柴田 茂樹		★柴田 茂樹		
緩和ケア (予約制)	堀尾 謙介 木下 明敏		山西 幹夫 ★酒井 武仁※ (AM)	蒲原 行雄 ★高城 昭紀※ (PM)		
放射線科 (予約制)	石丸 豊	小幡 史郎 石丸 豊	小幡 史郎 石丸 豊	小幡 史郎 石丸 豊	★小幡 史郎 石丸 豊	
リハビリテーション科			伊藤 茂 (運動器)			
耳鼻いんこう科	大学医☆※ (9時30分~13時30分)			大学医☆※ (9時30分~13時30分)		
外来化学療法室	蒲原 行雄 哲翁 華子	田中 康大 (第1・2週) 山西 幹夫 (第3・5週) 堀尾 謙介 (第4週)	堀尾 謙介	田中 康大 中島 章太	黒島 直樹 木下 綾華	
ストーマ外来		外科医師				
検診				木下 明敏		

○受付時間は8時45分から11時までです。(なお、診療科によっては異なる場合があります。)

○受付時間外に受診される場合は、急患対応となります。

○円滑な診療と患者さんの待ち時間短縮のため、緊急性がない場合は連携予約をお願い致します。

☆耳鼻科受付時間は、9時から11時までです。

○小児外科専門外来は、学会出張等で休診となることもありますので、地域医療連携室にお問い合わせください。

○緩和ケア外来は、予約のみとなっております。事前に診療情報提供書をいただき、後日予約日時をお知らせ致します。

○皮膚科、眼科は休診中です。

※招へい医師  
★再診のみ

長崎県島原病院  
代表 0957-63-1145  
地域医療連携室(地域連携の予約担当)  
内線 106、116(8:45-17:00)  
FAX 0957-63-6544



## 外来受診時間

午前8:45~午前11:00

受付時間外に受診される場合は、救急対応となります。  
※詳しくはホームページをご覧ください。

## 休診日

土・日・祝日

年末年始(12月29~1月3日)

発行/長崎県島原病院

(広報委員会事務局:地域医療支援センター)

〒855-0861 長崎県島原市下川尻町7895番地  
TEL 0957-63-1145(代表) 内線116 FAX 0957-63-6544  
URL <http://www.shimabarabyoin.jp/>